

建築・都市システム課程 畠山 純一さん

実務訓練機関 シャクアラ大学

海外で実務訓練を行った理由

私は一度も海外に行ったことが無く、昔から海外に行きたいという気持ちがありました。そこで先生からの勧めもあり、海外実務訓練に行くことを決めました。また、授業の一環として約2か月間、海外に滞在できるということも魅力的に感じました。

実務訓練先機関の紹介・実習

私は先生のコネクションで、インドネシアのバンダ・アチェという都市にあるシャクアラ大学にお世話になりました。この大学はアチェ州で最大の国立大学です。実習内容としては共同実験ということで、主にデータ整理や実験補助をさせていただきました。

現地での生活

バンダ・アチェは人口の9割以上がイスラム教徒ということで、街のあらゆる場所にモスクがあります。イスラム法という法律が存在するくらいイスラム教が盛んな街でした。イスラム教のおかげかどうかは定かではないですが、街の治安は比較的良く、現地の方々はとてもフレンドリーで楽しい生活を送ることが出来ました。私はシェアハウスをさせて頂いたのですが、そこはシャワーが無く、バスタブのような物に水が溜まっており、その水を桶ですくって浴びるというシステムで、毎日温かいシャワーを浴びることが出来るありがたさを痛感しました。また洗濯機も無く、手洗いで行いました。トイレは基本的にトイレットペーパーが無く、バケツと桶が備わっているだけでした。念のために日本からトイレットペーパーは持って行っていたのですが、意地でも現地の人と同じ生活を送ろうと思い、結局一度も使いませんでした。意外とやれるものです。食べ物は辛いです。かなりの頻度でお腹を壊しました。しかしとても美味しいです。水道水は飲めないため、ミネラルウォーターを飲んでいました。口をゆすぐのにもミネラルウォーターを使用しました。主言語はインドネシア語で、大学外は基本的に英語が通じません。しかし毎日インドネシアの友達と行動していたため、特に困ることはありませんでした。本当にみんな親切で感謝してもきれないくらいです。

海外実務訓練を考えている学生へ

私は英語が苦手な上、一度も海外に行ったこともない状況で、海外実務訓練に挑戦することを決めました。出発間近は後悔することもありました。しかし、そんな私でも無事に海外実務訓練を終え、行って良かったと胸を張って言えるくらい充実した実務訓練を送れました。絶対に何とかあります。そして日本のアニメや文化、ルールなどについて聞かれることが多く、英語が分からなかったり、そもそも日本のことを知らなかったりと困ることもありました。英語だけでなく、日本のことも勉強しておいた方が良いかもしれません。このチャンスを利用して是非挑戦してみてください。

